

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	五日市レインボーローム 放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日 ~ R7年 1月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	R7年 1月 13日 ~ R7年 1月 17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者のニーズに応える	利用者の特性に合わせた療育を基本として経験を少し積み重ねるように新たに経験が出来るような活動を考えている。家庭的な雰囲気の中、学校の課題（宿題）に取り組む利用者の支援を行っている。	療育の振り返りから利用者のニーズを探り療育内容を充実できるように努める。
2	遊びの場を用意している	併設のこども園施設内（屋上・粗大遊び）に遊びの場があり利用者のニーズや活動に合わせて身体を動かすことができる。	事業所外の運動施設などの利用も行い遊びが充実できるようになる。
3	保護者支援の方法	保護者と定期的な面談を行い子育てなどの悩みなどに応じて支援を行っている。 茶話会を開催し保護者が集う場を設けている。 療育の様子など連絡帳・ブログ等で伝えている。	保護者との連絡ツール（システムアプリケーション）を活用し保護者が事業所を感じられるように配慮していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境の整備	車椅子対応の整備。	利用者の特性に応じた環境に出来るだけ配慮していく。
2	職員の専門性	現在研修形態として事業所内・外部の研修に参加しスキルアップできるように研修の機会を設けている	専門性を高めるため研修への参加を積極的におこなっていく。
3			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2025年2月13日

事業所名: 放課後等デイサービス 五日市レインボールーム

対象人数(保護者)17人 回答者数 16人 回収 94.1%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16		
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	4	
	③	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていますか。	15	1	
適切な支援の提供	⑤	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16		
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16		
	⑦	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	16		
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16		
	⑨	放課後等デイサービス計画(個別支援計画書・専門的支援計画書)に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1	
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1	
保護者への説明等	⑪	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1	
	⑫	「放課後等デイサービス計画」(個別支援計画書・専門的支援計画書)を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	1	
	⑬	事業所では、家族に対して家族支援や家族等も参加できる情報提供の機会等が行われていますか。	13	3	
	⑭	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16		
	⑮	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16		
	⑯	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16		
	⑰	保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	2	
	⑱	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	
	⑲	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	
	⑳	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	
	㉑	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16		
非常時等の対応	㉒	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	4	1
	㉓	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	4	1
	㉔	事業所により、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われているだと思いますか。	15	1	
	㉕	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16		
満足度	㉖	子どもは安心感をもって通所していますか。	16		
	㉗	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	
	㉘	事業所の支援に満足していますか。	14	2	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		五日市レインボーローム				公表日 令和 7年 1月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	充分に確保されている。 動きを入れた活動は、併設の保育園の多目的ホールを使用している。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	配置は、適切である。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	スロープを玄関前等に設置し安全面が整っている。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日、清掃・消毒をしている。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じた対応をしている。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	振り返りの時間を確保し療育につなげていく。	全職員に周知する時間の確保	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	アンケートを実施しながら意向を把握し改善に努めている。	個々により不十分な場合有	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	ミーティングで意見を聞き業務改善につなげている。	意見交換する時間の確保	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		今後検討していく。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	事業所内・外での研修を受講している。		
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページに掲載している。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	保護者の方との面談等で保護者の思いに寄り添い計画を立てている。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	子どもの最善の利益を考え作成している。	ミーティングの時間を確保する。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	職員間で情報共有を行っている。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	担当者と確認し合い、時間を作っている。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	一人ひとりの発達に応じた個々の課題を集団適応・社会性の課題を支援計画に入れている。	地域支援・連携など色々な情報を見つけていく。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	職員間で話し合い、計画を立てている。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	たくさんの経験をしてほしいので毎月工夫している。		

供 應	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	計画に基づき支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	担当者が主になり確認し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	できる限り共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	その日の気づき、情報を記録し支援につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	3		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	関係機関で情報共有し合っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて連携を取っていく。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	必要時に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	必要時に行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	必要に応じて行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	現在は、行っていないが、必要に応じて行っていく。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	個別相談・保護者と情報を共有する時間を作っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	毎月1回、茶話会で情報共有している。	
～	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時等説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	家族相談にはできる限りの相談時間を作っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	面談時に説明している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	茶話会で保護者同士の交流の機会を月1回設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	令和6年度、苦情無し	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ホームページにて療育時の様子等を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報が記載されている書類は、鍵付きの棚に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	随時相談に乗っている。配慮は、適切に対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		今後地域に開かれた事業運営を図っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	月1回訓練を実施している。保護者には、契約時・面談時に周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約・面談時に情報確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約の面談時に情報確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全管理の研修に参加と事業所内研修を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	利用契約時にマニュアルを記載し家族に周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	行っている。	検討会を持てるよう議題を出していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2	事業所内研修で共有し合っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	身体拘束をしている利用者はいない。	